

News Letter

世界に賛美と福音を



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

Vol.86

SUMMER
2022



AKWM

<https://akworship.com/>

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

するどい感覚

工藤篤子ワーシップ・
ミニストリーズ 代表

工藤 篤子

あなたがたの愛が、深い知識において、
するどい感覚において、いよいよ増し加わり…

(ピリピ人への手紙 1章 9節)



今年に入ってから、神の愛を追い求めることを目標の一つに掲げました。前号のニュースレター（85号）にも、「愛を追い求めなさい」と題して記事を書かせていただきました。愛を追い求める中で、最近ハッとさせられたのは、ピリピ人への手紙1章9節からの箇所でした。

わたしはこう祈る。あなたがたの愛が、深い知識において、するどい感覚において、いよいよ増し加わり、それによって、あなたがたが、何が重要であるかを判別することができ、キリストの日に備えて、純真で責められるところのないものとなり、イエス・キリストによる義の実に満たされて、神の栄光とほまれとをあらわすに至るように。(ピリピ 1:9-11、口語訳)

神の愛を求めれば求めるほど、人間の愛とは次元が違うものであることが分かってきます。人間の愛は、内側（肉）から湧き上がってくるものですが、神の愛は、神から与えられなければ得ることができません。人間の愛は、永遠に続くものでも、真理から来るものでもなく、絶えず変化しますが、神の愛は、永遠に変わらず、真理に根ざしています。神の愛は、日々十字架を負って、追い求めて初めて理解し、体得できるようになるものです。日々十字架を負うとは、自分の肉の欲、肉の弱さ、肉の思いを、絶えず十字架に付けて行くことです。パウロは、ピリピの教会の兄弟姉妹の愛が、深い知識において、するどい感覚において、いよいよ増し加えられることを願いました。深い知識はみ言葉についてだと分かりま

すが、するどい感覚とは何でしょうか。

最もするどい感覚は、イエス様が持ち備えていたものでした。神から、私たちと同じ罪の肉の様でつかわされたイエス様は、最もするどい感覚をもって、肉の欲、肉の弱さ、肉の思いを知り尽くし、それら全てをその身に負って、十字架に架かってくださいました。簡単に人を裁き、さげすんでしまう私たちとは違い、イエス様の愛は、傷ついた葦を折ることも、くすぶる燈心を消すこともありません。イエス様は、すべての人、すべての事について、最もするどい感覚を持っておられたからこそ、私たちをあわれみ、その愛によって、十字架の贖いを完成してくださったのです。

私たちも、自分を十字架に付けつつ、イエス様の十字架を、深い知識とするどい感覚において理解して行くなら、神の愛が増し加えられ、何が重要であるかを判別することができるようになるのです。そうやって、キリストが来臨される日に備えて、純真で責められるところのない者となり、イエス・キリストの贖いを通して与えられる義の実に満たされて、神の栄光と誉れをあらわすに至りますように。

2000年に十字架を宣べ伝えるために賛美伝道を始めた私ですが、今、深い知識とするどい感覚において愛が増し加えられるために、日々十字架を負って、主の贖いの理解を深めつつ、イエス様と一つとされて行くことが必須であることを思われています。私の内側に、新たな歩みが始まるうとしています。

主よ人の望みの喜びよ

バッハの有名なコラール「主よ人の望みの喜びよ」(讚美歌第二編 228 番「ここに主イエスを」)は、これまで、私が最も頻繁に賛美コンサートで歌ってきた曲です。三拍子のこの曲は、伴奏の四分音符がさらに三連符に分かれています。当時の礼拝音楽創作者たちは、三拍子、三連符を用いて、三位一体、喜び、天の御国を表現してきました。以前、この曲を、教会音楽の第一人者であられた、故・岳藤豪希師にレッスンしていただいた時、伴奏の最初の三連符の始めの休符は三位一体のイエス・キリストであること、そしてこの休符であるキリストのもとへ来て平安を得るなら、この曲の歌うところの望みの喜びを得られるのですよと説明してくださいました。

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。(マタイ 11:28)

● 音楽修辞学

少し専門的な内容になりますが、修辞学(レトリック)の説明をさせていただきたいと思います。修辞学とは、もともとは弁論において聞き手を説得するための方法論で、その起源は古代ギリシャにまでさかのぼります。その後、この教えはローマ人に継承されてきました。

ルネサンス期末の 1400 年頃になると、ほとんどの作曲家と演奏家は修辞学を学び、その技法を音楽の中に活かし始めるようになりました。修辞学においては、聞き手を説得するために効果的なものの例えや言い回しが、フィグーラ(文彩)という形でまとめられていますが、作曲家たちはこれにならって音楽的な修辞フィグーラを用いるようになりました。そのいくつかの例を挙げてみます。

- ・Anabasis (アナバシス): 上昇音型 ⇒ 外向性、強さ、集中、上昇、肯定、明るさ、希望などを表す
- ・Catabasis (カタバシス): 下降音型 ⇒ 内向性、弱さ、

下降、否定、死、絶望など

- ・Suspiratio (ススピラツィオ): 休止によって旋律が分断されること、または、奇音によって作られる不協和音 ⇒ 驚き、ため息、恐れ、とまどいなど

● ルター派の礼拝音楽

中世の教会音楽家たちも、修辞学的手法に準じて作曲をしました。特に、ルターの宗教改革以降の礼拝音楽作曲家たちは、識字率が低かった時代、み言葉を、音楽を通して宣教・教育することを試みるようになりました。

ルターの約 200 年後に生まれたバッハは、礼拝音楽を仕上げる際、牧師が厳密に説教の準備をするように、ギリシャ語、ヘブライ語から語句解釈を行いました。ですから彼の作品を調べると、聖書の深い理解と音楽手法とが見事に一致しているのが分かります。



バッハがカントーラを務めていたライプツィヒのトーマス教会

バッハの半音階的音型は十字架、苦しみ、悩みなどを表現し、b(フラット)をキリストが身を低くするときの表現に用いました。また叫びを、和声を用いた情緒表現で、十字架上の叫びを減七の音程で表現したりしました。そのほか、

- ・C 音、八長調、八短調 ⇒ Christ, キリスト
- ・G 音、ト長調、ト短調 ⇒ Gott, 神
- ・D 音、二長調、二短調 ⇒ Deo, 神
- ・#、十字架とシャープは、ドイツ語で両方とも Kreuz ⇒ イエスが十字架に架けられる
- ・十三音 ⇒ 十字架に架かる
- ・66 小節 ⇒ 十字架の救いの完成
- ・ごつごつした音型 ⇒ 十字架を担いで歩く
- ・三拍子+三連符 ⇒ 天国

バッハの作曲には、ルターの教会音楽論が深く根ざしています。ルターは、「音楽は神学に近く、音符が言葉を生き生きとさせる」と言いました。彼は、「神学の次に大切なのは音楽である」とさえ言いました。

工藤篤子 賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWMホームページまたは事務局まで

主よ人の望みの喜びよ
定価 1,500円(税込)

「主よ人の望みの喜びよ」「マタイ受難曲アリア」「メサイヤ・アリア」「キリストにはかえられません」「アメイジング・グレイス」「主の祈り」など、たましいの歌 12 曲。

よき力に守られて
定価 2,500円(税込)

ボンヘッファーの「よき力に守られて」を中心に、「あなたに」「神の恵み」「詩篇 23 篇」「あお感謝せん」など 14 曲。

ほんとうの願い
定価 3,000円(税込)

リュート奏者、今村泰典氏の賛美曲、バッハ、カステッロ、シュッツの作品、「キリストには代えられません」「いつくしみ深き」など 22 曲。

神だけが Dios tan solo Dios
定価 2,500円(税込)

「安けさは川のごとく」「赤とんぼ」「荒城の月」「黄金のエルサレム」「私を平和の道具としてください」などライブ録音 12 曲。

カンシオン Canción
定価 2,500円(税込)

「きみは愛されるため生まれた」「とこしえに真実なお方」「救い主イエスと」「なんて美しい都」「なんて美しい都」(ゴスペル) などライブ録音 14 曲。

Come To Me
定価 3,000円(税込)

「鹿のように」「安けさは川のごとく」「Via Dolorosa」「輝く日を仰ぐとき」「カドシュ」「いちわのすずめ」「アメイジング・グレイス」など 18 曲。

讚美 Adorar
定価 1,500円(税込)

中国語、台湾語賛美を中心とした「鹿のように」「丘に立てる荒削りの」「主は今生きておられる」「耶和華祝福満満」「主よ人の望みの喜びよ」「鳥のうた」など 12 曲。



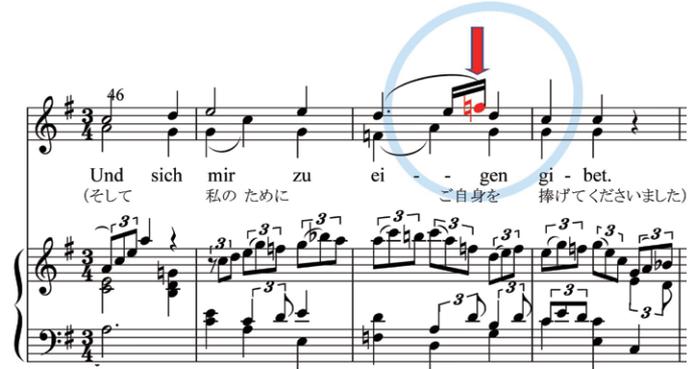
また、音楽を、「人間の情緒の女主人公、あるいは女性操縦者」と呼びました。修辞学を音楽に適用するなら、言葉を正確に、そしてそれを表現する情緒が適切で美しいものでなければいけません。そして、礼拝音楽におけるその目的は、バッハに至るまで、神の栄光をあらわすと同時に、み言葉の宣教と教育であったのです。

● 主よ人の望みの喜びよ

「主よ人の望みの喜びよ」は、バッハのカンタータ 147 番「心と口と行いと生き方をもって」に挿入されているコラールです。コラールとは、ドイツ・プロテスタント教会の会衆賛美のことです。「主よ人の望みの喜びよ」は、カンタータ 147 番の中に“Wohl mir, dass ich Jesum habe”（主イエスを持つ私は幸い）で始まる歌詞で挿入され、最後にも“Jesus bleibet meine Freude”（イエスは私の変わらぬ喜び）で始まる歌詞のもので締めくくられています。今回は、私が歌ってきた、“Wohl mir, dass ich Jesum habe” の歌詞を紹介させていただきます。



神の子であるイエス・キリストは、人の子として地上に生まれ、十字架の贖いを成し遂げられて、今は再び神の子として、父なる神の右に座しておられます。ですから、十字架である#の調号が、二位格の神であられるイエス様の冠といえます。しかし、この曲のクライマックスの最高音は、「ご自身を捧げてくださいました」の「ご自身」eigen で、本来の音は F# であるべきなのですが、実際には、# が取り去られて、半音低い F \natural (F = ナチュラル) になっています。これは、神であられるお方が、神の冠、栄光をお捨てになり、人となって、しかも罪人として、私たちのためにご自身をお捧げになったことをあらわしています。



「主よ人の望みの喜びよ」

Wohl mir, dass ich Jesum habe

主イエスを持つ私は幸いです。
 おお、私はこの御方をしっかりと
 抱きしめることでしょう。
 彼は私の心を慰めてくださる、
 病の時にも 悲しみの時にも。
 私が愛するこのイエスは、
 私のためにご自身を捧げてくださいました。
 ああ、だからイエスを離しません。
 たとえ心張り裂けるようなことがあったとしても。

この曲を音楽修辞学的に説明させていただくと、まず、神をあらわす G-Dur (ト長調) で書かれ、伴奏には、天国をあらわす三拍子と三連符が用いられています。G-Dur の調号は F# (ファにシャープ) です。神であり、

イエス様は、私たちの罪の身代わりに、父なる神から裁かれたのです。そのように、死に至るまで、十字架の死に至るまで、捨てられても裁かれても従順に従われたイエスを、父なる神は高く上げ、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをかかめ、また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためでした。

私たちは、もっともっと十字架の贖いの理解を深めていかなければならないと思います。私たちが日々悔い改めつつ、肉の欲、肉の弱さ、肉の思いに打ち勝ち、み言葉に従い、そうやって主の十字架と復活にあずかっていくなら、私たちのささげる賛美は、神の栄光を輝かせるものとなり、人々にキリストの福音を伝え、キリストのみからだである教会を建て上げていくものとなるに違いありません。

賛美セミナーDVD CDも好評発売中



賛美セミナーII
DVD 2 枚組

2015年11月7日大阪セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)

1. 詩篇から学ぶ賛美
2. 賛美のいけにえ・キリストの賛美
3. ロックの起源・歴史とその影響
4. いろいろなるリズムとことばに即した賛美実演 (野田常喜)



賛美セミナーI
DVD 2 枚組

2013年11月4日大阪セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)



賛美セミナーI
CD 4 枚組

2013年11月9日東京セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)

1. 賛美とは
2. 詩篇 51,50 (悔い改めを通してささげる賛美)
3. ビート音楽の影響
4. 音楽と聖書

※内容は DVD CD 共に同じです。

賛美セミナーIIと賛美セミナーIのアイテムを併せてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。

お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討いただける教会・団体がございましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。

9月 Sept.

27日(火) 14:30~ **NPO 法人「のぞみの家」主催コンサート**
会場：豊中アクアホール

10月 Oct.

30日(日) 15:00~ **宝塚栄光教会 チャペル・コンサート**

11月 Nov.

3日(木) ~ **ロサンジェルス 中華教会**

12月 Dec.

11日(日) 18:00~ **柏原教会 クリスマス・コンサート**
日本イエス・キリスト教団、大阪府柏原市

愛する皆さま

主の御名をほめたたえます。

皆さまのお祈りとご支援に心から感謝いたします。

相変わらず、札幌と大阪を約2週間おきに往復しています。

もう3か月前になってしまいましたが、芦屋キリスト教協議会主催のプレ・イースターコンサートを、主の導きの中で終えることができました。その後、コンサート活動はありませんでしたが、大阪では、昨年結成した賛美グループ Avivalantanto の礼拝賛美奉仕、賛美レッスン、対面およびインターネットを通しての聖書の学び会、祈り会、伝道活動など、忙しくも充実した日々を過ごしています。

今後の活動では、9月27日(火)に、大阪府豊中市アクアホールで開催される、NPO 法人「のぞみの家」(終末期事業 ホームホスピス)主催の講演会にて、スイス在住のリュート奏者、今村泰典氏とミニコンサートをさせていただく予定です。10月は、ブラジル日系人教会連盟からの依頼で、インターネット配信用のルター宗教改革記念コンサートを収録する予定です。配信は、宗教改革記念日に合わせて、10月下旬の予定です。YouTubeが公開されましたら、ホームページを通してお知らせいたします。

● 不正がさばかれるように

95歳になる父は、第二次世界大戦時、海軍飛行予科練習生でしたが、出陣する前に終戦になり、命拾いました。しかし、その経験は、父に深い傷を残し、70年以上も戦争体験の真実を語ることはありません

でした。しかし、2~3年前から突然口を開き始めました。今語り残しておかねばと思い立ったようです。戦争は、多くの人々を殺し、町を、国を崩壊させ、肉体的・精神的に大きな打撃をもたらします。ウクライナだけでなく、AKWMが長年支援してきたミャンマーの、昨年2月1日の国軍のクーデターによって始まった国内戦争は、今もなお続いています。

あらゆる部族、国語、民族、国民は神様がつくられたものであり、その主権者はイエス様です。神のものを迫害し、侵略し、破壊する者は、必ず神がさばかれることを私たちは知っています。み言葉がそう語っているからです。しかし、私たちは、み言葉が語っているからと、ただその時をじっと待つのではなく、不義な裁判官にしつこくしつこく訴えて聞き届けられたやもめのように(ルカ18:1-8)、祈りが聞き届けられるまで、切に祈り求めていかなければならないのだと思います。

神よ、起きて、地をさばいてください。すべての国民はあなたのものだからです。(詩82:8)

不正が速やかにさばかれますように、日本に、国々に、神のみこころを行う指導者が立ちますように、心を合わせ、声を合わせて切に祈ってまいりましょう。また、すべてを計画し、すべてを実行される全能なる神に、心からの感謝と賛美をささげていこうではありませんか。

皆さまに、主の恵みと守りがありますように。

工藤篤子



工藤篤子ワースhip・ミニストリーズ 事務局

Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金とご奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

事務局

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワースhip・ミニストリーズ」

銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)

普通預金0133752 「工藤篤子ワースhip・ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。また、事務局にご連絡いただけますなら感謝です。



メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。

メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL

https://akworship.com/

※URLが変わりました。ブックマークの変更をお願いします。